

令和6年5月31日

日立理科クラブ通信

No.223



日立理科クラブ

理数アカデミー 合同入校式

5月19日(日)、理数アカデミー16回目の合同入校式が日立市教育プラザで行われました。

今年度の受講希望者は、共同開催の UTokyoGSC-Next 萌芽コース（昨年度までの東京大学ジュニアドクター育成塾）への全国からの応募者を含めて約80名（別途選抜予定）でした。

対面で参加している受講生は、記念に来賓の方々や講師と共に集合写真を撮りました。

入校式では、来賓の日立市教育委員会折笠教育長から、「全国各地から集まった受講生や、東京大学の先生方、実社会でいろいろな経験を積んだ理科クラブの講師の方々との共同的な学びで、学びを進化・深化させて欲しい。」また、日立理科クラブの瀧澤代表から「このアカデミーでは、東大、日立市のサポートを受けることができる。問題を解決しながら学習、研究に積極的に参加してほしい。参加し続けることが大切。」と受講生への励ましがありました。

受講生代表の佐々木紳悟さん(水戸第一高等学校附属中学校2年)は、「他の学校の生徒とも交流しながら学習し、自分のよさも伸ばしたい。東大のアクティブラーニングは理解が深まる。自由研究にも挑戦したい。」と、理数アカデミーに応募した理由や抱負を述べてくれました。

理科、算数・数学、自由研究の担当者からは一年間の活動方針や先端研究施設見学会、茨城大学工学部での特別授業の予定などについてガイダンスがありました。特に算数・数学では工夫した問題を設定しているので、出席して考える力を伸ばしてほしいこと、自由研究では、少し背伸びをして研究者や技術者を疑似体験し自分の考えを論文にまとめたり、わかりやすく紹介したりする活動もあるとの説明がありました。11月には自由研究成果発表会が予定されています。

また、東京大学の堀先生からは、「考えていることを言葉で伝えること、また、友達のことを言葉で受け取って考えること」が大切とのお話がありました。川口教室との交流も予定されているようでとても楽しみです。

入校式に対面で参加している受講生も、オンラインで参加している受講生も目を輝かせて話を聞いており、意欲的に取り組もうとしているのが伝わってきました。

この日は、午前中や入校式後に早速授業がありました。授業の様子は、今後、取り上げていきたいと思えます。



理科クラス



算数・数学クラス



自由研究コース



折笠教育長



瀧澤代表



佐々木さん



ガイダンスを熱心に聞く受講生